

**申請を忘れずに
主食用米作付農家支援事業補助金**

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、米価の下落が続いている状況を踏まえ、主食用米作付農家の営農負担を軽減し生産意欲の喚起を行い、次期作への支援を図るため補助金を交付します。

■交付対象者

基準日(令和3年10月1日)と申請日に平泉町内に住所を有し、令和3年度(産)水稻実施計画書兼営農計画書に記載されている農業者(10㍍以下の農家は対象外)

■交付単価…令和3年産主食用米作付面積
10㍍あたり2,000円

■申請方法

農林振興課から郵送された申請書兼請求書に押印のうえ、金融機関口座氏名(フリガナ)番号が確認できるもの(通帳表紙うら一面またはキャッシュカード)の写しを添えて、農林振興課へ提出してください。

■申請受付期限…12月10日(金) ※郵送は必着

■問い合わせ先…農林振興課 ☎46-5564

**お気軽にご利用ください
米価下落に関する相談窓口**

県では、米価下落により影響を受ける農業者からの相談に対応するため、相談窓口を設置しています。

米価下落に伴う営農継続に対する不安や困りごとがあれば、お気軽にご利用ください。

■相談内容

令和3年産米の価格下落により影響を受ける農業者からの資金繰りや今後の作付、生産技術対策などの営農全般に関する相談にきめ細かく対応します。

■開設期間

10月1日から当分の間 8:30~17:15
(土日、祝日及び年末年始を除く)

■相談窓口設置場所・問い合わせ先

一関農林振興センター(一関地区合同庁舎)
☎46-5572
一関農業改良普及センター(一関地区合同庁舎千厩分庁舎) ☎46-3560



写真1 濾過付注口土器(高さ9.8㍍)
注口土器は、急須に似た形の土器で、縄文時代後期~晩期に見られる土器です。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」が本年の7月に世界遺産に登録されたことを記念して「平泉を掘る」では、町内で出土した縄文時代の遺物を紹介します。第2回は、長島字月館地区の県道工事で見つかった珍しい土器です。
これは「注口土器」という今から三千五百年前の縄文時代後期中ごろのもので、縁から下の位置にたくさん穴が開いた粘土板を付けており、形から濾過機能を持った容器と考えられる土器です。



写真3 斜めから見た土器
この穴は、果実などを潰したり、濾して、液体をとるために使ったと考えられます。



写真2 上から見た土器
縁から4㍍下のところに4~5㍍の大きさの穴が開いた粘土板がついています。

道 平泉 情報 知っ得
黄 金 花 咲 く 理 想 郷
問 い 合 わ せ 先 … 道 の 駅 平 泉 ☎ 4 8 - 4 7 9 5



【産直売り場11月のお薦め品】

落花生(ナタテユタカ) 落花生は、地中で実が成る植物で、コレステロールの抑制、動脈硬化や心筋梗塞の予防に効果が期待されています。

そんな落花生を道の駅平泉に出荷する予定なのが14区中山間組合の皆さん。「炒っても、茹でもおいしい落花生です。組合員のみならず、試行錯誤をして丹精込めて育てています。今年が栽培して2年目で販売は初めてですが、どうぞ食べてみてください」と話してくれました。

■販売時期…11月中旬頃

<レストラン>
11月の **イチオシ!**

毎朝6:00から提供開始

朝定食

町内産のお米、みそ、野菜を使った朝定食を好評販売中です。10月から町内産ひとめぼれの新米を使っています。ごはんのおかわり自由です。
■販売価格…500円(税込)



**11月20日(土)に開館します
県立平泉世界遺産ガイダンスセンター**

「平泉」の価値を広く伝え、後世へ継承する拠点施設「平泉世界遺産ガイダンスセンター」が開館します。
■所在地…平泉町平泉字伽羅楽108-1
(道の駅平泉の向かい、旧柳之御所資料館跡地)
■開館日…11月20日(土) 14:00~
■開館時間…9:00~16:30 (4~9月は9:00~17:00)
■休館日…毎月末日(土曜・日曜の場合は前日)、年末年始、資料整理日
■入場料…無料
■問い合わせ先
平泉世界遺産ガイダンスセンター ☎34-7377

